



## 配布資料

①iPadガイドス資料

②手提げ袋

iPad本体/Apple Pencil/Smart Keyboard  
ファイルの中 (iPad Pro関連資料/受領確認書/ Apple School)

聖ドミニコ学園中学高等学校

# 教育の質を高めていく

# 学年全員にiPadを一斉導入

iPadを導入する学校が急激に増えてきている。

教師はどのように指導し、子どもたちはiPadで何を学ぶのか。

学校における導入事例は、家庭でのiPad学習の参考になりそうだ。

TEXT:N.MATSUSHITA 松下典子 PHOTO:T.FUCHIMOTO 瀧本智信  
INFORMATION:聖ドミニコ学園 <https://www.dominic.ed.jp/>

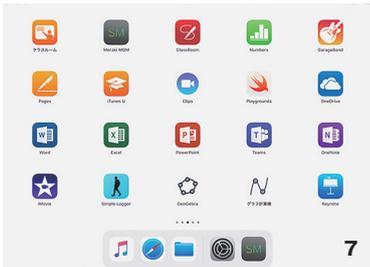


iPad Pro 10.5インチの64GBセルラーモデル。本体カラーは、事前に生徒が好みの色を指定。SIMフリーなので、SIMカードは自由を選ぶことができる。

東京都世田谷区にある私立中高一貫校、聖ドミニコ学園中学高等学校では、2016年からiPadの順次導入を進めている。2017年9月には中学1年生の全員にiPad Proを配布、今年度は6月より高校1年生へ導入。その導入初日の授業を取材した。

iPadの導入授業は、午後の2時限分をあてて行われた。大教室の机の上には、それぞれの生徒の名前のタグが付いた青い手提げ袋が並べられている。袋の中身は、各生徒が事前に選択したカラーのiPad Pro (10.5インチ)、Apple Pencil、Smart Keyboardと、資料や契約書などをまとめたファイルだ。

すぐに開封したい生徒たちを制し、まずは配布物の確認とガイドス材



スマホを持つ学生たちには、iPadに対する苦手意識なんてない



えっ、Safari 消えちゃうの？



セットアップを終えた途端、iPadに夢中になる生徒たち。Apple Pencilでイラストを描き始めたり、さっそく集合写真を撮るグループも（写真1、2、3）。生徒用のiPadは、一部アプリの使用が制限されている（写真4）。大学入試の英語試験にタイピングが必要となることから、Smart Keyboardが使えるiPad Proを導入（写真5）。リアルタイム授業支援アプリ『MetaMoji Classroom』、スタディサプリ、Office 365などを追加。Webブラウザは強力なフィルタリング機能を備えた『i-FILTER』を使用（写真6）。管理者の画面。アプリは教師や管理者が一元管理し、学生専用IDではアプリの購入はできない（写真7）

教育機関向けのiPadと個人購入のiPadが異なるのは、学校の管理IDでログインする点だ。学習向けに最適化されており、生徒に使わせたくない機能の制限や、教育に

ポートしていく。  
続いてSmart Keyboardを装着し、セットアップ。高校生ともなればiPhoneユーザーも多く、iOSの初期設定は慣れたものだ。とはいえ、iPadに初めて触れる生徒もいるなど、進み方には個人差がある。8名の教師が見守り、作業が終わったかどうかをひとりひとり確認しつつ、ていねいにサポートしていく。

ら開始「携帯時はケースや鞆に入れること」「防水ではないので、鞆の中で水筒が水漏れしないように」「使い終わったら電源をオフにする」「置き忘れに注意」といった、破損や紛失を防ぐための取り扱いの注意事項が説明されたあと、書類に受領のサインをして、ようやく開封が許される。



東京都世田谷区にある私立の女子中高一貫校。英語・フランス語の授業、交換留学など国際教育に重点を置いている。